

「日本全国津々浦々、はては世界各国どこにでもきももので行きます！」という3名のきもの達人に、旅のコツをうかがいました。

私流！きもの旅のコツ

●宅急便用、手荷物用、遊び用、3種類のバッグを使い分けます！

左の写真は、二泊三日の旅行セットです。

帯、帯締、帯留、半衿、足袋、長襦袢、肌襦袢、下着等の一式を一日目セット、二日目セットというように、一日ごとに風呂敷に包みます。その他に、草履、化粧品、ヘアセット関係、風呂敷、きものハンガー、衣装敷などを「レスポートサック」の旅行バッグに入れます。三泊四日分は余裕で入ってしまいます。私の場合、一泊二日の旅行であってもバッグごと宅急便で旅行先に送り、旅行の最終日に宅急便で家に送り返します。なので、きものために多少荷物が多くなっても気に

なりません。

手荷物は、京都の嵐山の1,000円ショップで購入した色違いの古典柄のバッグを愛用しています。その中には雨ゴート、晴雨兼用折りたたみ傘、懐紙セット、足袋袋に入れた替え足袋、風呂敷などを入れます。きものに合わせてバッグの柄と色を変えて楽しんでいきます。

また場合によっては、古典柄のバッグは旅先でコインロッカーにも預けることが出来ますので、もう一つのきもの用バッグには貴重品やカメラ等を入れておきます。

2泊3日の旅行セットを1日分ごとに風呂敷に包みます。風呂敷包みはバッグのサイズに合わせるのがポイント。



古典柄のバッグときもの用バッグ2個を持って旅行中。



「レスポートサック」の旅行バッグ。ラージタイプでサイズは35×52×27cmです。丈夫で軽く大容量。海外旅行は、これがスーツケースに変わります。

古典柄バッグをコインロッカーに預けて、きもの用バッグ一つになれば、さらに身軽になって観光も快適になります。



和創美 ● <http://www.wasoubi.jp/>

「和創美」代表 林良江

私流！きもの旅のコツ

移動の車内では、後ろのお太鼓をクルリと前に！

「美装流前結び」名古屋校校長 鈴木 佐江子

仕事でプライベートで、全国をきも
ので飛び回っています。きものを着ての
移動で気になるのは、電車や車の運転
中にせっかくの帯結びが、べっちゃんこ
にならないかという心配がありますね。

私は前結びをしていますので、乗り物
に乗って座るとすぐに、帯だけを持ち、
後ろにあるお太鼓をクルッと前に回し
てしまいます。前結び用の帯板は、帯
を崩さずに回すことができます。特殊な
加工がされていますので、これがとって
も簡単にできるのです。後は大判のハ
ンカチを上からかけて、後ろのシート
にもたれて、本を読んだり眠ったり。

目的地に着く頃に、また帯を回して、
帯枕の紐と帯揚を整えます。こうす
れば移動で疲れることもなく、お太鼓
も形の良いまま行動できます。

一週間の出張で持つていくきものや
帯、和装小物は、きもの三枚、長襦袢
二枚、帯二〜三本、帯揚二枚、帯縮二本。
これらをコーデイネイトしながら、一週
間を乗り切ります。ホテルに戻ると、
下着や足袋は毎日洗面所で洗い、お
風呂場に干します。ドライヤーで乾か
すこともあります。スケジュールが詰
まった旅行のときは、長襦袢に半衿を
二枚ずつ付けておき、汚れたら上の半
衿を外していくことも。衿元は一番汚
れが目立つので、旅行中であっても清
潔さを心掛けています。



新幹線の移動もこんなスタイルで。疲れないの
で目的地に着いてから元気に活動できますよ。



美装流前結びの「デラックス帯板セット」です。
伊達締めや余分な紐を使わないので長時間着て
いても身体が楽で着崩れません。旅の着付けに
もおすすめてです。



仕事柄出張も多く、いつも
きものです。写真は「名古
屋徳川宗春道中」に和髪
隊で参加したときのものです。



東京で林良江さん(右)と。この日も朝、名古屋から新幹線に乗ってき
ましたが、いっさい着崩れなしです。

霜月。霜が降り始める頃ということから「霜降り月」、または、上(カミ)の月に対する下(シモ)の月で「シモツキ」とも呼ばれています。立冬を迎えれば暦の上ではもう冬。冬の気配が徐々に増して温かいものが恋しくなる季節でもありますね。子どもの健やかな成長を祈念する七五三、出世や商売繁盛につながる西の市など華やぐ中、木々は色づく紅葉から落葉の季節に入ります。

私のきものアルバム11月

文・物撮／林良江



今月のきものは、私が経営者の頃、会社の社員さんの結婚式で主賓として挨拶をする事が多かったために誂えた、四季の草花と牛車を描いた巻絵の古典文様、鴉(とき)色の五ツ紋色留袖です。帯は京都旅行中に西陣織会館にて衝動買いした、鳳凰文の西陣織袋帯を合わせてみました。

今月のきもの遊び



季節に合わせて風呂敷を

まもなく年末のご挨拶の時事です。季節に相応しい柄の風呂敷に心ばかりの品を包み、大切な方を訪問する日本ならではの習慣は、宅配便が便利になったとはいえ、無くしたくないですね。風呂敷はきものと同じく後染めのものが格は上です。これで包んだものは訪問先の座敷まで持ち込んでもよく、先染めのものは高価なものでも玄関先で包みをときます。贈答以外にも、私は、風呂敷をいつもカバンに1枚は入れておきます。かさばることなく、コートを脱いだときに包んだりするなど、何かと役立つアイテムです。



きもの美人の輪

湯野川恵美さん
株式会社ヒューマンシステム 代表取締役



IT企業の経営者としてお客さまのビジネスを支えるITサービスを提供する仕事をされています。システムを創るエンジニアとしてのキャリアにプラスして、美しい立ち居振る舞いを身に付けるために茶道を、きものを着てお稽古に行けるように着付けを習われたそうです。お会いするときは、いつも美しいきものを披露してくださいませ。パリの女性経営者でありながら、きものや和の世界への造詣も深く、私が尊敬する女性のお一人です。

<http://www.humansystem.com/>

きものでお出かけ情報

毎月、きものを着て集う楽しいイベントを用意しています。お気軽にご参加ください。

「～小江戸川越散策～」

時の鐘を聴きながら蔵の街をそぞろ歩きとお食事会]

日:2011年11月16日(水)AM11:30~PM16:00

集:東武東上線 川越駅前

費:2,800円(ランチ・おやつ・ガイド料含む)

[日本美人(和の心を磨く)・生活美人(幸せ色のライフスタイル)・対話美人(人とのコミュニケーション)輝きスタイル講座]

江戸仕草、日々の暮らしの年中行事、自分に合う幸せ色、アロマの話をする。特典は顔ツボ体験。

日:2011年11月18日(金)PM18:30~21:00

所:フェスタ飯倉 ☎03-5570-1500

東京都港区麻布台3-5-7

東京メトロ日比谷線「六本木駅」徒歩12分

「神谷町駅」徒歩8分

費:2,000円(顔ツボ体験・お食事・飲み物代込み)

問・予約:和創美・林良江 090-7010-4723

<http://www.wasoubi.jp/> (和創美(検索))

林良江 ● はやしよしえ
法人企業・外食産業系会社創業社長(17年間)を経て、マダム路子会長の「国際魅力学会」魅力心理士として活動。着付&礼法&ビジネススクール講師、マナーアドバイザー、経営コンサルタント、フードコーディネーター、占い師、パーソナリティーなどマルチに活躍。また「輝く女性作りセミナー・シャイニング(女性講師軍団)」を主宰。「和創美」代表。